

建設産業常任委員会

5月20日～22日(所管事項調査)

一 大分県臼杵市

「土づくりセンターについで」

同施設では完熟堆肥を人工的に製造し、良質な堆肥を活用し、「ほんまもん農産物」事業に取り組み、ブランド化の推進を行うなど、農業振興に力を入れている。堆肥材料には草木類や豚糞を使い、6カ月かけて完熟させ、1年あたり3000トン以上の完熟堆肥を製造する能力がある。

三 福岡県糸島市

「竹林整備促進事業についで」

糸島市では、市内において伐採された竹を、1トン当たり5000円で買い取り、加えて3000円の糸島市商工会商品券を交付している。竹は粉碎、加工後に道路のり面保護材などに活用され、のり面の緑化、自然環境の保持に役立っている。

二 大分県日田市 「バイオマス資源化センターについで」

日田市では、生ごみや豚糞尿などの有機物をメタン発酵処理し、発電、液肥及び堆肥の生産を行い、堆肥は市民に安価で販売している。一日当たりの処理能力は80トン、発電能力は340キロワット、液肥は年間330トン、堆肥は年間300トン生産している。



臼杵市土づくりセンターにて

文教常任委員会

5月18日～20日(所管事項調査)

一 埼玉県上尾市

「弓道場についで」

埼玉県立武道館は、バリ

アフリー及びユニバーサルデザインを取り入れた施設で、主道場のほか6つの道場が整備され、弓道場については、近的弓道場が12人立、遠的弓道場が10人立の近代的な設備が整っていた。また、本市は那須与一公のゆかりの地として、新しい弓道場建設が望まれる。

二 兵庫県小野市

「小中連携教育の推進についで」

小学校から中学校に進学することにより、新しい環境での学習や生活へ移行するため、不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態等(いわゆる中1ギャップ)に直面し、小学校から中学校への接続を円滑

化するため、小学生の中学校進学に対する不安感を軽減する取り組みを行っている。

三 奈良県奈良市

「小中一貫教育の取り組みについで」

義務教育の9年間で学習内容の系統性を重視し、義務教育の目的、目標としている資質、能力、態度等をよりよく養えるよう児童生徒を育てる取り組みを行っている。



埼玉県立武道館前にて

市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法 ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

●大田原市ホームページ <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先 大田原市議会事務局 ☎23-8714

